

# 目次

まえがき

2

## 1章 植木屋って何をするのか？

18

1-1 さまざまな呼称

\_\_\_\_\_

19

1-2 作業内容

\_\_\_\_\_

20

1-3 他の業種との違い

\_\_\_\_\_

22

1-4 どんなことを学んで、どんなことを考えているのか？

\_\_\_\_\_

24

## 2章 庭は時代を象徴している……各時代の庭を簡略的に説明

29

2・1 庭の起源

2・2 飛鳥奈良時代

2・3 平安時代

2・4 鎌倉室町時代

2・5 安土桃山時代

2・6 江戸時代

2・7 明治以降

## 3章 日本と庭……外国の方がなぜ日本の庭を賞賛するのか？

38

3・1 日本の庭と外国の庭の違い

3・2 外国の方が日本の庭に惹かれる理由

30

31

32

33

35

36

36

40

42

3・3 日本庭園の管理の難しさ

46

## 4章 これからの庭の形

48

4・1 昨今の庭事情

49

4・2 本職が見据える今後の庭の形、理想

51

## 5章 草引きの重要性……

なぜ禅宗の住職さん自ら庭の掃除、草引きをしているのか？

57

5・1 雑草魂

58

5・2 草引きは修行

60

5・3 草引きから生まれるもの

64

6章 庭の楽しみ方……庭はいろいろな樹木、石など

自然のものを使って表現している。その鑑賞点など

66

6-1 庭は自由

\_\_\_\_\_

67

6-2 庭は表現の場

\_\_\_\_\_

69

6-3 たった一つの庭

\_\_\_\_\_

70

7章 いい庭とは……

73

7-1 庭の落ち着き

\_\_\_\_\_

74

7-2 適材適所。無理に植えるよりその土地の風土にあったものを植える

\_\_\_\_\_

76

8章 これから植木屋になる人へ

81

8・1 自然相手の仕事

8・2 人格を磨く

8・3 勉強（各方面にアンテナを張る）

8・4 庭の勉強法

82

84

87

88

9章

剪定の重要性……

植木屋であれば誰が切っても同じではない。その奥深さ

91

9・1 剪定とは

9・2 十人十色の職人模様

9・3 切らぬも剪定

92

93

96

10章 庭があることの本当の価値……

自宅に庭があつてよかつたと思えること

98

10 | 1 庭文化の行方

10 | 2 庭を持つことの負担

10 | 3 庭を持つことの本当の価値

10 | 4 無添加、オーガニックについて

11章 職人と道具……道具の魅力、実用性プラスα

107

11 | 1 庭の道具の話Ⅰ

11 | 2 庭の道具の話Ⅱ

111 108

105 102 100 99

12章 苔って身近なもの……

苔というものは格が高い気がするが、意外と身近なこと

116

12 - 1 苔人気

12 - 2 苔から学ぶ庭の形

120 117

13章 庭を作るには技術だけではできない……

剪定、石技術だけ会得してもいい庭はできない

124

13 - 1 技術について

13 - 2 本から学ぶことも大切だが、もつと大切なことは身近なものから学べる

13 - 3 経験、磨かれた感性に基づいた感覚を大切に

128 127 125

あ  
と  
が  
き  
参  
考  
文  
献

134 131